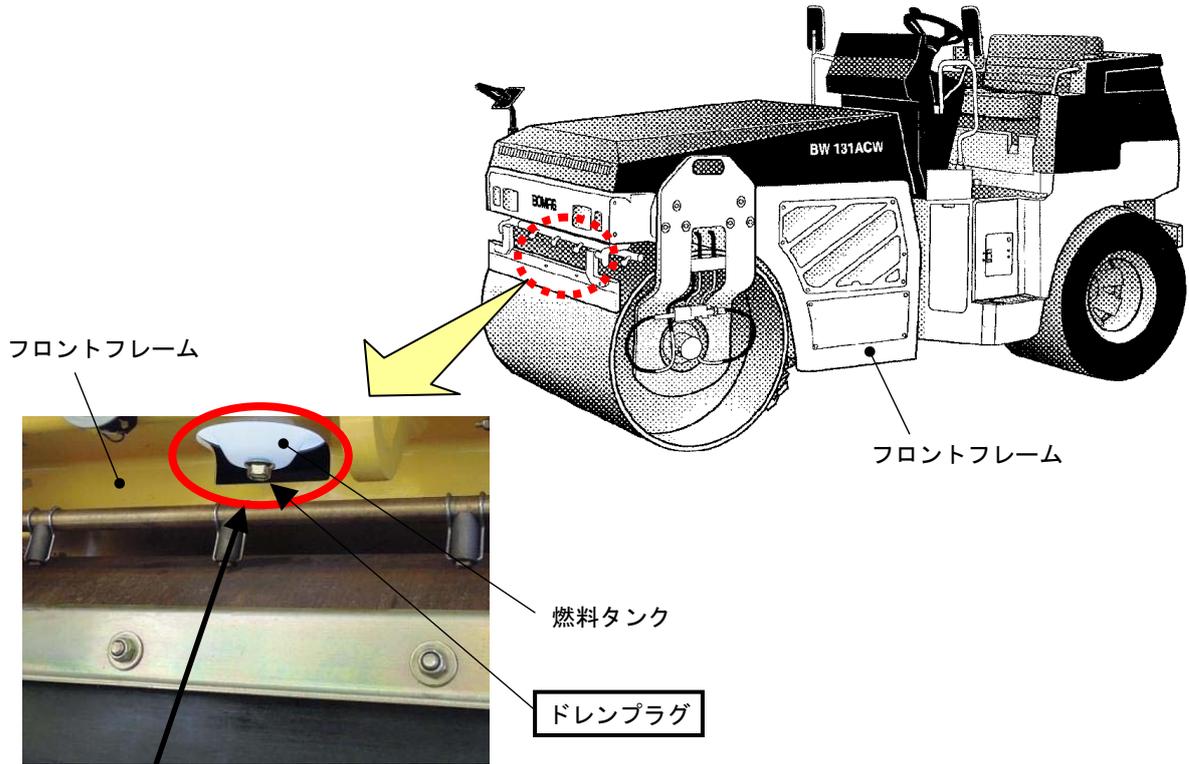


改善箇所説明図

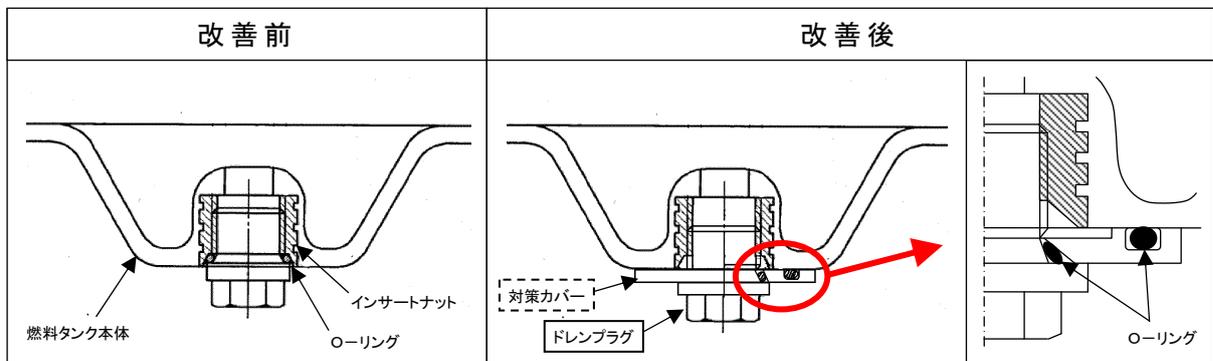


基準不適合発生箇所

燃料タンクにおいて、本体樹脂部とドレンプラグ用インサートナットの接合、及びプラグとのシール構造が不適切なため、ドレンプラグ締付時のトルクにより本体とインサートナットとの間に微小な間隙が生じ、シール性が失われることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料が漏れるおそれがある。

改善の内容

全車両、燃料タンクドレンプラグの外観形状を確認し、不具合品が取付けられている場合は、ドレン部に対策カバーを追加し、ドレンプラグを新品に交換する。



識別 : エンジンボンネット右側ヒンジ固定ボルト頭部に、白色ペイントを塗布する。

注 : は追加する部品を示す。

 は新品に交換する部品を示す。